

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会

〒462-0035 北区大野町3-19

TEL (052)915-8111

FAX (052)915-8114

E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

納税者の権利を守る民商を大きくしよう！

秋に向けて民商を大きくするため知恵を出し合おう

8月8日（金）夜、定例の常任理事会を開催。拡大運動について、役員研修会についてなど話し合いました。4月以降の新入会は11人、退会は18人で7人の後退であること、年間50人ほどの退会があり、拡大しなければ、民商の存続も危機となることなどと討論。拡大推進委員会の開催を決めました。「税務署から収支内訳書の督促がきたが、罰則はなく出す出さないは自分で決めればいいと聞いた。民商以外の人を出しているのでしょうか」と質問が。「民商は、収支内訳書の提出について署名など反対運動をして、罰則規定を導入させなかった。会員以外では、強制的な文書を見たら出してしまう人が多いのでは」「民商がどんどん小さくなってしまったら、納税者の権利が守られず後退してしまう」と意見が出されました。税務署交渉の日程を報告すると「僕も出ます」と手が上がりました。また、9月に開催される「全国中小企業研究交流集会」を活用して、役員研修を行おうと提案し、9月14日の「税制・民主的な税務行政」の分科会を視聴したあと討論することに。また、愛商連として今期力を入れている業者青年対策として、「補助金セミナー」を行うことを決めました。白部青年部長が、10件近い補助金を獲得してきた自身の体験をもとに話すことにしています。次回の9月5日は理事会を開き、冒頭、先日広島の前水禁大会に参加した鬼束さん、岩満さんに報告してもらいます。

一人でも関心をもってもらい原水禁大会に参加を

8月18日（月）午前10時半から、民商婦人部役員会を開き、6人が参加。婦人部の活動について話し合ったあと、8月4日から6日まで、原水爆禁止世界大会に参加した岩満さんに報告してもらいました。岩満さんは、「原水禁世界大会がどんなことをやるかも知らずに参加。愛知の代表団が100人くらい新幹線のホームにいてびっくり」「原爆ドーム近くのアリーナには、日本中からたくさんの人が集まり、被爆者の方のお話を聞きました」「2日目には、被爆者が治療のため運ばれた似島へ行き話をきいた。被爆後1万人の息がある人を船で運んだが、その間にもどんどん亡くなり船の底に遺体をしまっている絵を見てその残酷さを知った」など、分科会で学んだことを報告。「被爆の実態を知って、何もないように暮らしているのが申し訳ない気持ちになった」「保育士、学生など若い人たちがたくさん参加していて、その姿勢に敬意を感じた。平和で暮らせていることにありがたいと心から思った」「一人でも多く核兵器の問題に関心をもって、広島に行って話を聞いてきてほしい。帰ってから自分の娘や孫にも、広島へ行って資料館を見学するなどして勉強してほしいと話した」「3日間参加させてもらい、感謝しています」などと語りました。

岩満さんの報告を聞いた役員は、「行ってみないと感じられないことがあるね」「岩満さんの報告も、もっと多くの人に聞いてほしいね」「広島県知事の挨拶が、核抑止論をきっぱり否定していてすごい」（裏面に掲載）



説明をきく岩満さんと鬼束さん

青年部主催

補助金セミナー 参加者募集！

「小規模事業持続化補助金」の内容をベースに、「補助金とは」「補助金を受けるための準備」などを学習。また、今までに10件近い補助金を獲得してきた白部一臣さん（北部民商青年部長）から、これまでの経験を語ってもらいます。＜参加費無料＞

日時 9月26日（金）
19時30分～

場所 民商3階会議室

秋の役員研修交流会

「中小商工業全国交流研究集会」の企画（オンライン）を活用して役員研修会を開きます。学習が主ですので、役員以外の方も積極的に参加してください。

日時 9月14日（日）13時～17時

「民主的な税制・税務行政」
助言者 望月 爾（立命館大学教授）

場所 民商事務所3階

*税務調査対策の取り組みなどを学んだあと、討論